

自転車をもっと楽しく、安全に！

会場（県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN）をオンラインでつなぎ、自転車を楽しむ、安全に乗るためのアイデアについて話し合うミーティングを開催します。

身近な乗り物だからこそ、知っておきたいマナーやルール、楽しむための工夫などについて、共有していきます。ぜひ、ご参加ください！

令和4年1月30日（日）13:30～15:30

ZOOMによるオンライン参加者募集（先着90名）!!
会場とオンライン参加者のPC・スマートフォンをつなぎます。
※定員を超えた場合は、YouTube Liveで視聴できます。

- ・参加無料
- ・どなたでもご参加いただけます。
- ・裏面よりお申込みください。

NETSUGEN
GUNMA PREF. FOREST CAMP

●ファシリテーター



自転車ツーキニスト
疋田 智 氏

●話題提供者



東京オリンピック 日本代表
(自転車競技・マウンテンバイク)
今井 美穂 氏

●話題提供者



サイクリングナビゲーター
絹代 氏

話題提供者

■株式会社 SUBARU 技術本部 ADAS開発部
自動車の先進技術から見た自転車の安全について

関口 弘幸 氏

■NPO法人赤城自然塾 赤城山サイクリングプロデューサー
自転車による赤城山の活性化について

松島 伸安 氏

■国立大学法人 群馬大学 共同教育学部
大学教授のサイクリストが見た群馬のサイクリング環境

教授 西園 大実 氏

■前橋市未来創造部交通政策課 交通安全・サイクリングプロモーション係
まえばしシェアサイクルc o g b eについて

辺見 実沙 氏

【行政関係】群馬県国土整備部 道路管理課 交通安全対策室 室長

木内 弘二 氏

【学校関係】群馬県教育委員会 健康体育課 学校安全・給食係 指導主事

黒巖 賢 氏



■主催：群馬県

■お問い合わせ 群馬県生活こども部県民活動支援・広聴課
群馬県国土整備部道路管理課

■電話：027-226-2293 ■Eメール：npo@pref.gunma.lg.jp



【ZOOMによるオンライン参加】

◇ぐんま電子申請受付システムにてお申し込みください。

申込期限：令和4年1月21日（金）17時

(ぐんま電子申請受付システムURL)

ぐんま電子申請受付システム→
QRコード



https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=5957

◇申込完了後、開催日前日までにセミナーのURLをメールで送付しますので、あらかじめ、ZOOMの使用環境の設定をお願いします。

◇収集した個人情報は、当該イベント及び群馬県からの情報提供のみに使用します。

ファシリテーター



■自転車ツーキニスト 宍田 智 氏

宮崎県生まれ。東京大学卒。自転車活用推進研究会理事。自宅から会社までの通勤に自転車を使う“自転車ツーキニスト”の草分けとして、自転車の乗り方、楽しみ方、ひいては自転車行政の形、理想的な都市交通のあり方などを論ずる。

TBSラジオ「ミラクル・サイクル・ライフ」パーソナリティ。著作に「電動アシスト自転車を使いつくす本」（東京書籍）「新自転車“道交法”BOOK」（榎出版社）「ものぐさ自転車の悦楽」（マガジンハウス）など。

話題提供者



■【東京オリンピック日本代表】自転車競技・マウンテンバイク 今井 美穂 氏

前橋市立新田小学校教諭（CO2bicycle所属）。富岡市出身。学生時代は陸上競技部に所属し、七種競技を専門種目として取り組む。大学卒業後、小学校の教師となり、自転車通勤を始める。その後、シクロクロス競技に出会い、世界選手権代表となったのち、MTB競技を始め、東京五輪出場を目指す。2020年5月に内定獲得し、2021年「東京2020オリンピック女子マウンテンバイククロスカントリー日本代表」となった。

■サイクルライフナビゲーター 絹代 氏

自転車活用推進研究会理事。横浜市出身。東京大学農学部卒業後、JICA（国際協力機構）勤務を経て、英国大学院で身体運動と栄養について学び、自転車の可能性に魅せられ、自転車が持つ心身への効果について探求を深める。現在はメディアでの情報発信やイベントなどのMCや記事の執筆、自転車フィットネスの提案など、自転車を軸に健康、美容、エコのフィールドで活動中。各地の自転車政策の検討委員を務め、サイクルツーリズムなど自転車を使った地域おこしにも携わる。

■株式会社 SUBARU

スバルブランドの自動車と、航空宇宙産業の2つの事業を持つグローバルな輸送機器メーカー。「レガシィ」「インプレッサ」「フォレスター」などの人気シリーズを持つ。「安心と愉しさ」をモットーに、単なる移動のための手段ではなく、乗る人すべてにとって安全で嬉しい走りを約束するクルマの開発を続けている。

■NPO法人 赤城自然塾

環境保護保全活動を中心に、赤城山の魅力を伝える活動を行う。2017年より前橋市、桐生市の赤城山エリアにおける観光登録観光地域づくり法人(DMO)として地域や行政と協力して活動。2019年からe-Bike(高性能電動アシスト付スポーツ自転車)のサイクリングツアーやレンタルをスタートし、地域資源のさらなる活用を進めている。

■国立大学法人群馬大学共同教育学部教授 西園 大実 氏

東京都出身。東京理科大学大学院薬学研究科博士課程終了、薬学博士。趣味はサイクリング。群馬県サイクル応援隊の活動に協力し、県道のサイクリングロード管理の助言等を行う。

■前橋市役所 未来創造部 交通政策課

一定の区域に自転車の貸出と返却が可能な拠点(ポート)を多数設置して、どのポートでも自転車の貸出・返却ができるサービスであるシェアサイクル事業「cogbe」を運用。回遊性を高めることで、地域の活性化を図っている。また、令和3年10月23日からは長距離サイクリング観光に適した電動クロスバイクのシェアサイクル「あかぎcogbe」も展開中。

